

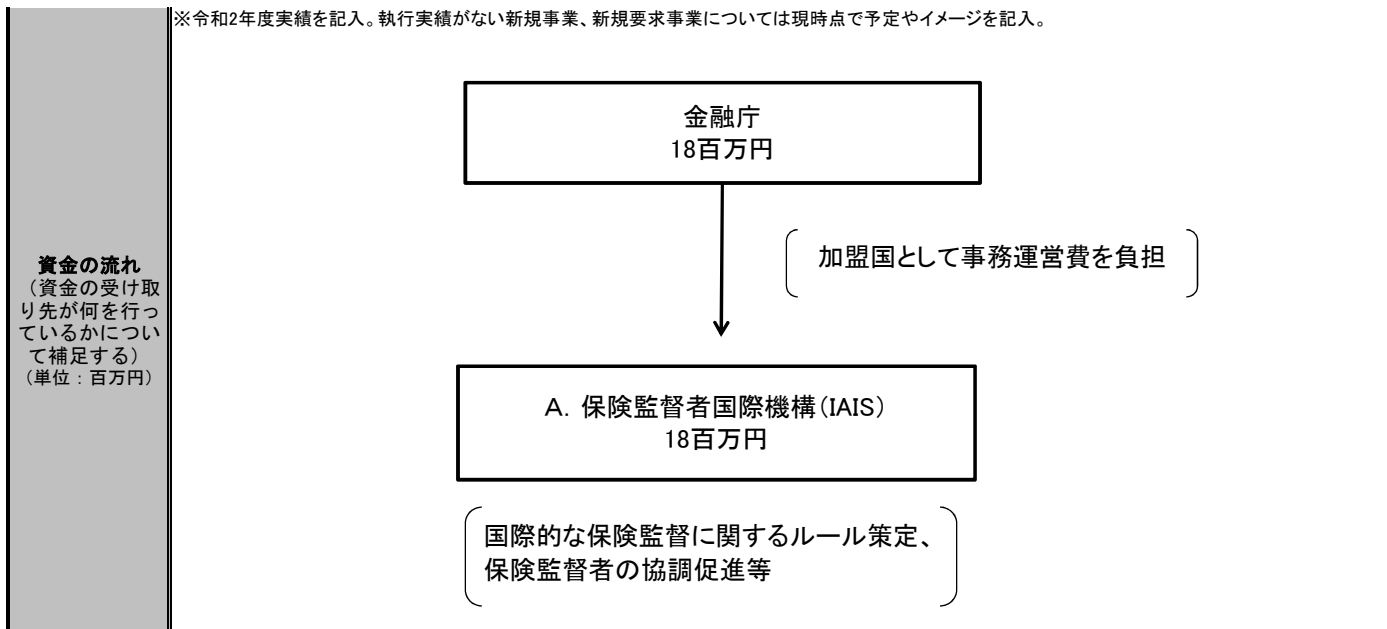
令和3年度行政事業レビューシート ( 金融庁 )

<b>事業名</b>	国際機関分担金 (IAIS)			<b>担当部局</b>	総合政策局			<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成10年度	<b>事業終了 (予定) 年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課国際室			橋本 成央			
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	保険監督者国際機構定款2部第7条						
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費						
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資すること。										
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	保険監督者国際機構 (IAIS) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金										
<b>実施方法</b>	その他										
<b>予算額・執行額 (単位: 百万円)</b>			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	12	21	18	20	21				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	2	-	-	-	-				
		計	14	21	18	20	21				
	執行額		14	16	18	-					
	執行率 (%)		100%	76%	100%	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		117%	76%	100%	-						
<b>令和3・4年度 予算内訳 (単位: 百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由							
	証券監督者国際機構等分担金	20	21	保険監督者国際機構 (IAIS) 分担金の要求増: +1百万円							
	その他	0	0								
	計	20	21								
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>			<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>中間目標 - 年度</b>	<b>目標最終年度 - 年度</b>	
	金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく。	国際機関の主要な会合において、日本が賛同した議案が決議された会合回数 (中間目標については、年度内の会合数が未定のため確定できない)	成果実績	回	10	9	13	-	-		
		目標値	回	10	9	13	-	-			
		達成度	%	100	100	100	-	-			
<b>根拠として用いた統計・データ名 (出典)</b>	担当課室にて集計										
<b>定量的な成果目標の設定が困難な場合</b>	<b>定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標</b>	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と平成30~令和2年度の達成状況・実績					
	-										
<b>事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績</b>	<b>代替目標</b>	<b>代替指標</b>			<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>中間目標 - 年度</b>	<b>目標最終年度 - 年度</b>	
	-	(参考指標) IAISにおける日本人職員数	実績	人	2	2	2	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込	
	活動実績	当初心見込み							
国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	-	-		
	当初心見込み	件	1	1	1	1	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	国際機関に対する義務的経費であり、単位あたりコストを算出できない。	単位当たりコスト					-	-	-
			計算式	-	-	-	-	-	
政策評価	政策	-							
	施策	-							
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年度
								-	-
				実績値	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
-									
新経済・財政再生計画との関係	取組事項	分野:	-						
		KPI (第一階層)		単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年度
			-		-	-	-	-	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年度	
				-	-	-	-	-	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目		評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国際的な議論に積極的に対応すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展を目指す事業であり、社会のニーズを反映していると考えます。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国際機関に日本国又は機関として加盟し、国際的な議論に対応するものであるため、地方自治体等に委ねることができない事業であると考えます。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業の目的は、国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、国際金融システムの安定と発展、ひいては我が国経済の持続的な成長に資するものであるため、優先度の高い事業と考えます。また、すべての加盟国又は加盟機関が共通して負担すべきものであり、必要かつ適切な事業と考えます。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-						
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	国際機関の総会決議等で定められた分担金額であり、最低限のものに限定されていると考えます。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-							

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	国際的な議論に積極的に参画しており、成果実績は成果目標に見合ったものとなっていると考える。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金を適切に支出しており、活動実績は見込みに見合ったものであると考える。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点検・改善結果	点検結果	<p>○ 本経費は、保険監督者国際機構 (IAIS) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、成果実績は成果目標に見合ったものになっていることから、適切に執行されていると考える。</p> <p>○ 引き続き、金融に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していくことが必要である。</p> <p>○ 費用の支出や国際会議への参加に加えて、例えば、金融庁職員がIAIS執行委員会共同副議長として、国際的に活動する保険会社やそのグループに関する基準や枠組みの検討などの、国際的な議論を主導する役割を果たしている。</p>	
	改善の方向性	<p>総会等の国際会議を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、国際機関に対して効率的な運営を求める。具体的には、IAIS親委における毎年の予算及び決算報告に関する議論に参加していく。また、我が国はIAIS予算委のメンバーであり、分担金を含むIAISの予算の適切な執行・管理等に関する議論に参加していく。</p>	
<b>外部有識者の所見</b>			
(外部有識者点検対象外)			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
現状通り	○引き続き、拠出された資金が有効に活用されるよう、資金用途を確認すること。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
現状通り	<p>○事業目的を実現するため、我が国が意見を発信し続ける立場を確保できるよう、引き続き、国際的な議論に積極的に参画していく。</p> <p>○IAISの中期財政計画(2020～24年)に基づき、我が国としても応分の負担をする。令和4年度においては、前年度比百万円の増額となる予算要求を行う。</p> <p>○資金用途については、総会等の国際会議への参加を通じ、引き続き資金用途の適切性及び有効性について確認するとともに、国際機関に対する効率的な運営を求めている。</p>		
<b>備考</b>			
-			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成22年度	3		
平成23年度	3		
平成24年度	3		
平成25年度	3		
平成26年度	3		
平成27年度	17		
平成28年度	19-2		
平成29年度	0022		
平成30年度	0022		
令和元年度	金融庁 - - 0023		
令和2年度	金融庁 - 0023		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 保険監督者国際機構 (IAIS)			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事務運営費	保険監督者国際機構 (IAIS) 事務運営費	18	-	-	-
計		18	計		0	

**支出先上位10者リスト**

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	保険監督者国際機構 (IAIS)	-	分担金	18	その他	-	-	